

2025.12月/2026.1月スケジュール

朝のおつとめ 毎朝7時から

どなたでも、いつからでもお気軽にお参りください

12月

定例法話会	8日 14時
講師 本願寺派布教使 菅原智之師	
親鸞聖人 及び 浅井成海先生月命日	16日 14時
除夜会	31日 14時
寺ヨガ	1・15日 10時

2026.1月

新年初参り	1日 7時
元旦会	1日 14時
定例法話会 及び 能登半島地震追悼法要	8日 14時
講師 石川県 藤田拯水氏	
親鸞聖人ご正忌 及び 浅井成海先生月命日	16日 14時
寺ヨガ	19・26日 10時
ともに講築地本願寺参拝	26日

NEWS

ともに講

築地本願寺参拝

どなたでも
参加できます

日程	1/26月曜日	集合	①善了寺からバスで行く方 11時30分本堂前集合	②築地本願寺に集合の方 大階段の下に12時30分
場所	築地本願寺	持ち物	念珠	
内容	1時から4時頃まで お経、法話 懇親会	参加費	5000円	
		申込み締切り	12月20日	

予告

かまくらそきさらぎきほうよう

鎌倉組如月忌法要

日程	2/24 13時
場所	東福寺
参加費	横浜市港南区笹下5-13-20 500円

第2駐車場一時閉鎖についてのお願い

境内地整備工事に伴い、2026年4月始めまで、第2駐車場を一時閉鎖いたします。本堂前の駐車場、又は近隣のコインパーキングをご利用ください。セブンイレブンへの無断駐車は、ご遠慮ください。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、12/30～1/4までの間は工事がお休みの為、駐車可能となります



◎新しい個人墓地区画あります

◎法輪廟（継承者の心配が必要ない共同墓地）もあります
(ほうりんびょう)

お気軽に
ご相談ください

境内の【こより堂カフェ】法事の食事会、墓参時のランチ休憩等にご利用ください
《日曜・祝日休み》 お問い合わせ・ご予約は直接こより堂カフェにお願いします ☎045-827-3334

発行責任：浄土真宗本願寺派 善了寺 住職成田智信

横浜市戸塚区矢部町125
☎045-881-0348 FAX881-0379
http://www.zenryouji.jp/
✉yan0348@gmail.com



善了寺ともに講公YouTube
こちらのQRコードから読み込んでください。住職の仏様のお話を聞いていただけます。
チャンネル登録もお願いします



2025年12月1日

VOL. 344

善了寺ニュース

～阿弥陀様の慈悲はどんなにつらい状況にあろうとも
あなたを決して見捨てない～

2025年を顧みて

門徒総代 村井俊之

2025年、お寺の行事は全て、ご門徒の皆様の温かいご支援ご協力をいただき、つつがなく無事に終わることができました。皆様が豊かな心で体調管理につとめられ、お寺に報恩感謝のご奉仕された結果は顕著です。ありがとうございました

8月の全戦没者追悼法要では、2024年ノーベル平和賞授賞された日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)の事務局長である濱住治郎氏をご講師に迎えて講演会を行いました。戦争は二度とあってはならないと誓いを新たにしている有意義な講演でした。原水爆投下後、放射能の影響で75年は、草木も生えないだろうと言われた広島にキョウチクトウの花が生き抜こうとする意志で咲き、復興への希望となったそうです。

世界では、ロシアのウクライナへの侵攻、イスラエルのガザ地区で攻撃し、7万人以上の尊い命を失いましたが、さらに攻撃しています。人間への尊厳はあるのでしょうか。

善了寺デイサービス「還る家ともに」20周年記念式典には、多くの方々が参列され、所長スタッフ、住職、坊守たちが、多くの演出と趣向を凝らして盛り上がり感激でした。今年もここ強い一年でした。来年もお念仏と共に歩ませていただきましょう。 合掌

今年もありがとうございました。

2026年もよろしくお願いいたします

善了寺住職 成田智信

2025年も阿弥陀さまの「この私を救わずにはおかない」というはたらきに抱かれながら、静かに暮れようとしております。今年一年、皆さまには変わらぬお力添えを賜り、心より御礼申しあげます。来年も、引き続きよろしくお願い申しあげます。

本年は、能登半島支援活動から幕を開けました。御門徒の皆さまの温かいお支えによって始まったご縁は、明治学院大学の学生さん達の支援活動へとつながり思いも及ばない程大きな輪となって実を結びました。南無阿弥陀仏の根本にあるのは「平等の慈悲」です。だからこそ、苦しみの中にある人を決して見放さず、いのちを道具のように扱わない。そのお慈悲に突き動かされ、今年も多くの縁を結ばせていただきました。この歩みは、来年も続けてまいります。

また、今年も善了寺にとって大きな喜びの年でもありました。副住職の顕慈が友香さんと共に寺へ帰ってまいり、6月には新しい命——晴永（はると）が誕生いたしました。阿弥陀さまの光に照らされ、御門徒の皆さまに見守られながら、次の代へと法灯をつなでいけることは本当に有り難いことです。

お念仏のご縁を頂きながら、やがてお浄土へ往生する暁には、胸を張って先に往生された懐かい方々へ一年の歩みをご報告できるよう、来年も精一杯勤めてまいりたいと思います。

新しい年もお念仏をよりどころに敬いあう御同朋・御同行としてよろしくお願い申しあげます

合掌